

日本大学経済学部産業経営研究所
産業動向調査研究（2008-2009年度プロジェクト）
「大田区・中小機械金属工業の構造変化と政策課題」
（代表 草原光明）

はしがき

本プロジェクトの目的は東京大田区の機械・金属工業に焦点を当ててその担い手たる「中小零細企業」の現状を把握することにある。大田区の機械・金属関連産業はわが国のもの作りの基盤を担う産業として、すなわち「ナショナル・テクノポリス」と評されて集積してきた。また、大田区の工業は都市型工業の集積を代表するものとして東大坂市に展開する機械・金属関連製造業の集積と比較の対象になってきた。さらに、イギリス・バーミンガムの産業集積との比較対象でもある。

しかしながら、大田区の産業集積は都市型工業の集積が縮小する波にもまれ始め、1983年をピークにしてその企業数（事業所数）、従業者数ともに激しい縮小局面に入ってきた。さらに、最近の「世界同時不況」の影響を強く受けていると考えられる。われわれは大田区の機械・金属工業の集積に表れているであろう質的な・構造的な変容の実態と特質を把握する必要に迫られた。その変容が政策的な対応を迫るものならばその政策課題はいかなるものであるか、課題の解決方向はいかにあるべきか、また、解決の手段の存在はどのようになっているかの検討の必要に直面した。これが本プロジェクトの課題である。

課題の追求に際してわれわれは一つの足がかりを持っていた。本学の経済科学研究所の共同研究として推し進められた福島久一教授を代表とする大田区・機械・金属工業についての1996年調査・1998年調査の研究成果である。本プロジェクトはこれとの比較研究という視点を与えられた。また、イギリス・バーミンガムにおける産業集積とその政策を比較検討する機会を与えられた。ここに公にする本プロジェクトの成果報告がこうした課題設定と調査方法・分析方法の妥当性を有していることを切に願うものである。

本プロジェクトがこれまでに公にしたいくつかの成果を以下報告する。この報告書を含めて忌憚のないご批判を仰ぐ機会がありましたら、これにまさる喜びはない。

2010年2月、本学産業経営研究所において本プロジェクトの国際シンポジウムを開催した。学内外からご参加を得られたお礼を申し上げたい。6月26日、日本大学経済学部を会場校にして開催された日本中小企業学会東部部会において本プロジェクトメンバーの小林世治氏・高橋慎二氏の共同報告が大田区・中小機械金属工業についてなされた。さらに、日本中小企業学会全国大会（9月25日 於東洋大学）において「大田区・中小機械金属工業の構造変化—1998年・2008年調査結果を通して—」と題して小林世治氏・高橋慎二氏による共同報告がなされた。

なお、2010年3月、本調査・研究の成果を中間報告の形で刊行した。『大田区・中小機械金属工業の構造変化と政策課題[中間報告]』（日本大学経済学部産業経営研究所、2010年3月）と“Changes in Structure and Policy Concerns of Small and Medium Enterprises in the Machinery and Metal Industries of Ohta-Ward, Tokyo [Interim Report]”, Institute of Business Research, College of Economics, Nihon University, March 2010である。

また、本プロジェクトのメンバーによって大田区・中小機械金属工業に関連する二つの論文が公刊された。一つは福島久一「今日の日本経済と中小企業」（『経済』No. 179, 2010年8月号所収）であり、もう一つは小林世治「東京都・大田区—ナショナル・テクノポリスを襲う経済危機」（『経済』No. 179, 2010年8月号所収）である。

本プロジェクトの調査、研究をまとめるに当たって、お世話になった諸氏への感謝の念を付記することをお許し願いたい。まず、産業経営研究所の2代にわたる、三井泉所長と村田和彦所長、および研究所運営委員会の諸氏に対してこの研究の機会を与えて下さったことに感謝申し上げます。同時に研究事務課の諸氏についても同様にお世話をいただきました。この調査票の設計からコンピュータ処理に至るまで終始支えて下さった有限会社 地域情報設計研究所の金光秀幸代表、シンポジウムを始め学会での貴重な意見を下さった学内外の研究者諸氏にはあらためてお礼を申し上げるまでもなくお世話になりました。そしてこの調査に快く応じて下さり貴重なコメントまで下さった大田区の中小企業の経営者の方々。われわれはこうした皆様のご厚意と支援によって調査研究を進めることができましたことを付記してお礼に代えます。

共同研究者一覧

草原光明（日本大学経済学部教授）

福島久一（日本大学経済学部教授）

角田 収（日本大学経済学部教授）

小林世治（日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科准教授）

和田耕治（嘉悦大学経営経済学部教授）

高橋慎二（日本大学経済学部非常勤講師）

David Bailey（コベントリー大学 学部教授）